

日頃から、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。11月2日（水）に低学年分科会で研究授業がありましたので、ご報告いたします。

## 1年生 国語科 「じどう車ずかんをつくろう」

### 《目指す児童像》

経験したことから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり、確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる子。

### 《【習得・活用・探究】の学習過程の工夫》

#### ①集めた情報を整理することができるための【習得・活用・探究】過程の設定

伝えたいことを明確にするためには、正確に事柄の順序関係を捉えることが重要である。そこで、事柄の順序関係を確認する場面において、単元指導計画（全6時）に【習得・活用・探究】過程を設定する。例えば、第1時では、救急車の資料をもとに、救急車の「しごと」とそのための「つくり」についてまとめる学習を行う（習得）。第3時では、見付けた資料を基に、選んだ自動車の「しごと」をジャムボードにまとめる学習を行う（活用）。第4時では、選んだ「しごと」をもとに、「つくり」をジャムボードにまとめる学習を行う（活用⇄探究）。第5時では、ペア学習で「つくり」を選び、図鑑づくりをする学習を行う（活用⇄探究）。そして、第4時、第5時においては、1単位時間の中にペア活動を取り入れながら「活用」⇄「探究」の往還の場を設け、文章で適切に表現することにつなげるようにする。

#### ②振り返る場の設定

第4時、第5時において、事柄の順序関係を捉えていたか、ペア学習でアドバイスできたか、ジャムボードのルールを守っていたか、分かったことなどの感想を入力させ、自己評価を行う時間を設ける。

### 《ICTを活用した指導の工夫》

ICTを活用した指導の工夫	指導の目的	使用するアプリ等
集めた情報を整理しやすくするための工夫	事柄の順序関係を捉えさせるため。	ジャムボード
自己評価を即時に把握し、次の学習につなげるための工夫	自己評価をさせるため。	グーグルフォーム

## 成果と課題

### 成果

- 救急車の「しごと」とそのための「つくり」についてまとめる学習を、本時の学習に活かすことができた。
- 「その車ならではの」「人ではなく車のしごと」という話合いの視点が明確でよかった。
- ペアや全体でアドバイスし合うことで、考えを深めることができた。
- 考えをまとめた後にジャムボードの付箋の色を変えることで、自分や友達の思考の確認がしやすかった。
- 自己評価の観点がシンプルで、児童が取り組みやすかった。

### 課題

- 「タブレットの蓋を閉じる」指示を、「パタンしましょう。」という言葉で行ってしまうと、音を出してしまう児童がいるので、「静かに閉じましょう。」と声掛けしたほうがよい。
- 本を2人で1冊ではなく、印刷するなどをして、1人に1つは、手元に資料があったほうがよかった。

